

**令和4年度 国土技術政策総合研究所 技術提案評価審査会
議事概要（案）**

日時：令和5年3月2日（木） 15：00～16：35

場所：【委員】各大学

【国総研】つくば旭庁舎8階会議室

横須賀庁舎2階応接室

出席委員：別紙の通り

1. 令和4年度の実施結果について

（1）主な内容

- ①令和4年度のコンサルタント業務ほかの発注実績について報告
- ②令和4年度の技術提案評価の実施結果について、以下を報告
 - ・契約方式別技術提案評価件数、個別審査会の審査会開催状況
 - ・個別審査会において、全ての技術提案評価について妥当と確認された
 - ・全ての技術提案評価について、競争参加者からの苦情申し立てはなかった
- ③その他
 - ・毎年実施する業界団体との意見交換会での意見を伺いながら、契約手続の改善について検討

（2）委員からの意見

- ・特段の意見はなく、実施結果について確認された

2. 令和5年度の入札・契約の取り組みについて

（1）主な内容

令和5年度の入札・契約実施方針について、以下を提案

- ①働き方改革への取り組み
 - ・発注手続き前倒し（上半期発注）、繰越制度の活用などで十分な履行期限の確保、平準化への取り組みの継続
 - ・プロポーザル方式、総合評価落札方式（標準型）の特定（評価）テーマ設定数について、1テーマ設定とする発注額を1000万円以下から2000万円以下とし、応募者の負担軽減を図る取り組みの継続
 - ・休業期間を考慮した業務実績年数緩和の継続
 - ・簡易公募型プロポーザル方式における「拡大型」原則採用の継続
 - ・情報システム改良業務等における「参加者の有無を確認する公募手続き」の活用継続
 - ・ウィークリースタンス、ワークライフバランスの取り組みの徹底
 - ・業務スケジュール管理表の活用徹底
 - ・受発注者間の業務打合せにおけるWeb会議の活用継続

- ・情報共有システム（ASP）の活用継続

②品質確保対策

- ・建設コンサルタント業務において、従来価格競争としてきた案件について総合評価落札方式（簡易型）を原則採用する取り組みの継続
- ・建設コンサルタント業務の低入札対策として総合評価落札方式において履行確実性評価の継続

③競争環境の確保

- ・従前から取り組んできた競争性を確保するための取り組みを継続

④入札契約の実施概要

- ・発注方式の考え方は業務、工事、役務とも従前どおり継続
- ・建設コンサルタント業務の競争参加資格要件は昨年度改定した内容で継続
- ・特定者及び落札者の決定方法は業務、工事とも昨年度改定した内容で継続
- ・業務、工事、役務とも、総合評価落札方式において賃上げ実施を表明した応募者に対する加点措置（技術（加算）点の5%以上で設定）を継続
- ・評価ウエイトは業務、工事とも昨年度改定した内容で継続
- ・個別審査会の運営方法をこれまでの全件審査から1回あたり3件抽出しての審査に改定、抽出は恣意的にならないルールを定めて事務局が実施
- ・個別審査会は引き続き Web 会議方式を採用

（2）委員からの意見

- ・公示段階での既存資料の Web 閲覧は進めていただきたい
- ・継続的な研究内容を含んでいるか否かが、審査段階で分かるように工夫されたい
- ・そのほか、入札・契約実施方針について了承された

以 上

令和4年度 国土技術政策総合研究所技術提案評価審査会委員名簿

所	属	役 職	氏 名	会 議
東京都立大学都市環境学部		名誉教授	宇治 公隆 (会 長)	出 席
筑波大学システム情報系		教授	有田 智一	出 席
東京都立大学都市環境学部		教授	砂金 伸治	出 席
東京都立大学都市環境学部		准教授	石倉 智樹	出 席
明治大学理工学部		教授	上野 佳奈子	出 席
筑波大学システム情報系		准教授	亀田 敏弘	出 席
東京理科大学理工学部		教授	菊池 喜昭	欠 席
埼玉大学大学院理工学研究科		准教授	小嶋 文	出 席
東京工業大学環境・社会理工学院		准教授	真田 純子	出 席
筑波大学システム情報系		准教授	白川 直樹	出 席
横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院		教授	鈴木 崇之	出 席
横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院		教授	田中 伸治	出 席
千葉工業大学創造工学部		教授	寺木 彰浩	出 席
東海大学工学部		准教授	中野 淳太	出 席
筑波大学システム情報系		准教授	藤井 さやか	出 席
東洋大学理工学部		教授	村野 昭人	出 席
筑波大学システム情報系		准教授	八十島 章	出 席
筑波大学システム情報系		准教授	山本 幸子	欠 席

会 議：出席者 16名 欠席者 2名